

# 株主通信

平成24年8月



YBHD NEWS No.31



つなぐ、むすぶ、広げる、未来へ

*The Next Perspective*



株式会社 横河ブリッジホールディングス

証券コード：5911



取締役社長

吉田 明

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに株主通信「YBHD NEWS」第31号をお届けいたします。  
当社グループを取り巻く事業環境は、公共事業費の縮減や民間設備投資の低迷など、依然として厳しい状況が続いております。  
このような状況の中、当社グループは、受注量の拡大やコスト低減に注力し、一層の企業価値の向上を図ってまいります。  
役員・従業員一同、株主の皆様のご期待に応えられますよう努力してまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年8月



平成24年7月27日に、平成25年3月期第1四半期(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)の決算短信を公表いたしましたので、その概況につきましてご紹介いたします。

### 連結経営成績(累計)

	平成25年3月期第1四半期	平成24年3月期第1四半期
売上高	19,480 百万円	15,037 百万円
営業利益又は営業損失(△)	78 百万円	△30 百万円
経常利益	123 百万円	41 百万円
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42 百万円	△220 百万円

### 【連結経営成績に関する定性的情報】

当社グループの当第1四半期の総受注高は、145億2千万円(前年同期比57.9%増)となりました。

セグメント別の受注高は、橋梁事業97億4千万円(同88.9%増)、建築環境事業45億円(同21.7%増)、先端技術事業2億7千万円(同18.9%減)となりました。

決算面につきましては、当第1四半期の売上高は194億8千万円(同29.5%増)、営業利益は7千万円(前年同期は3千万円の損失)、経常利益は1億2千万円(前年同期比196.9%増)、四半期純利益は4千万円(前年同期は2億2千万円の損失)とな

りました。

セグメント別の売上高は、橋梁事業150億6千万円、建築環境事業38億7千万円、先端技術事業3億1千万円、不動産事業2億3千万円となりました。

橋梁事業および建築環境事業で売上高は増加しましたが、橋梁事業は採算の厳しい工事の生産が増加したこと、工事損失引当金の増加により利益率が低下いたしました。建築環境事業の損益は前年同期に比べ大幅に改善いたしました。

### 平成25年3月期の連結業績予想

	第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)	通期 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)
売上高	41,500 百万円	85,000 百万円
営業利益	900 百万円	2,000 百万円
経常利益	930 百万円	2,050 百万円
当期(四半期)純利益	400 百万円	1,000 百万円
1株当たり当期(四半期)純利益	9円15銭	22円87銭

### 【連結業績予想に関する定性的情報】

当第1四半期の利益水準は低調なものとなりましたが、橋梁事業の受注・生産状況は順調であり、原価削減等による今後の採算向上も見込まれます。さらに建築環境事業の受注状況につきましても好調を持続しておりますので、現時点での業績予想の修正は行っておりません。



Topics 1

## CATS(鋼橋仮組立システム)の NETIS準推奨技術への選定について

株式会社横河技術情報が開発・販売している「CATS(Computed Assembling Test System)」が、国土交通省新技術活用システム検討会議よりNETIS(新技術情報提供システム)の平成24年度準推奨技術に選定されましたのでご紹介いたします。

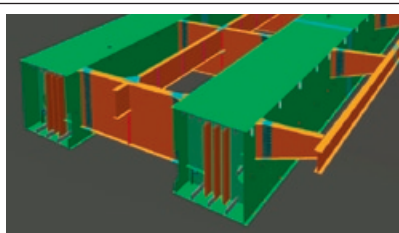
鋼橋の製作では、製品の出荷前に仮組立を行い、部材が適切に製作され、部材相互の干渉や架設手順に支障がないことなどを確認します。この確認作業は、その一方で広大な仮組立ヤードを必要とするほか、作業のための要員と設備、高所作業での安全配慮、悪天候による工期延長への懸念などの問題も孕んでいます。CATSは、このような問題を解決するため、高性能カメラを用いて撮影した部材の形状をコンピュータに取り込み、長年の実験と検証に基づいた仮組立と同等の品質確保や検査資料および後工程情報の出力を実現させながら、コンピュータ内部で橋梁を仮想的に構築できるシステムです。

CATSは、平成23年度に国土交通省新技術活用評価会議より、「技術の優位性が高く安定性が確認されている技術」であるとしてNETISの設計比較対象技術に選定されていましたが、このたび新技術活用システム検討会議に推薦され、「公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された、画期的だが、更なる発展を期待する部分がある新技術」として準推奨技術に選定されました。推奨技術あるいは準推奨技術として選定された技術は「総合評価方式の技術提案において提案された際に積極的に評価される技術」であり、また「発注者が適切と判断する場合は成績評価点の加点となる技術」として評価されます。今回の選定により、システム利用による生産性向上に対する技術という側面だけではなく、鋼橋メーカーの受注に貢献できる技術といった新たな価値を生み出すシステムとなります。株式会社横河技術情報ではこのたびの選定を受け、更に上位の「推奨技術」として選定されるよう開発を一層推進していく所存です。

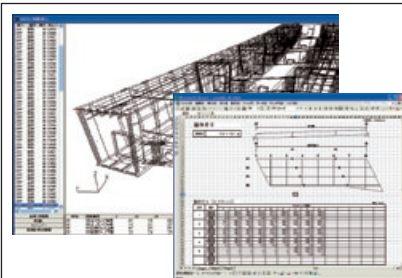


仮組立ヤードにおける仮組中の橋梁

作業には広大なヤードと作業要員や設備、安全配慮、悪天候下での工程配慮等が必要となります。



コンピュータ内部での仮組立シミュレーション  
部材単体の計測場と撮影機材、そしてシステムを搭載したコンピュータで作業可能です。



CATSでの後工程作業

シミュレーションから連続した処理が可能です。

Topics 2

## 壁高欄用アルミ製残存型枠 「alzo(アルツォ)」の開発

今回ご紹介する製品は、当社グループと株式会社住軽日軽エンジニアリングで共同開発した壁高欄用アルミ製残存型枠「alzo(アルツォ)」です。

壁高欄は橋の両端に設置され、車両の落下を防止する設備です。この壁高欄の施工において、交差点上や鉄道上的高架橋など壁高欄の外側に足場を設置できない場合や、都市高速道路で車両の衝突によるコンクリート片の飛散防止に配慮する場合には、施工後も残置する鋼製の型枠が採用されてきました。

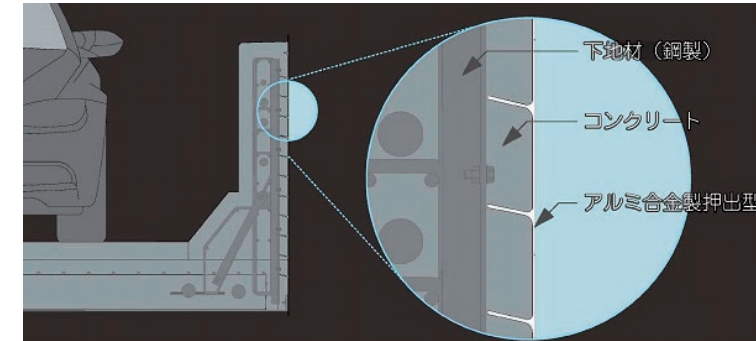
しかし、鋼製の型枠とコンクリートとの境界面から雨水が浸入することにより、鋼製の型枠が錆びるケースも少なくありません。このことから、近年ではコンクリート製の型枠が採用され始めていますが、コンクリート製の型枠は厚く、重量もあり、現場施工時のハンドリングの悪さが懸念されています。このような背景から、当社グループと株式会社住軽日軽エンジニアリングは耐食性に優れ、かつ軽量である壁高欄用アルミ製残存型枠「alzo(アルツォ)」を開発いたしました。

「alzo(アルツォ)」には次のようなメリットがあります。①曲げ加工や溶接施工がないため、コスト削減が可能、②表面が滑らかで汚れが付きにくい、③色彩の選定や、つやの有無の選定が可能、④鋼製の型枠に対して約1/3の重量であるため、現場施工性がよいなどです。

このメリットを生かして、今後は多くの関係機関で本技術を採用していただけるように、営業活動を展開してまいります。



alzo (アルツォ)



alzo (アルツォ) の構造



Topics 3 檜崎製作所室蘭工場の紹介

株式会社檜崎製作所は、1935年(昭和10年)の設立以来、造船技術をベースに、橋梁(鋼橋)、環境機械(主に水処理装置)、船舶上架施設、その他の鋼構造物(鉄管やゲートなど)のメーカーとして、北海道を中心に全国的に事業展開してまいりました。

現在の室蘭工場は、昭和50年に機械鉄構事業部崎守工場として操業を開始しました。  
平成20年11月、生産量の拡大に対応するため、最新鋭のレーザー切断機を導入しました(道内橋梁メーカーでは初)。自動制御により作業の効率化が図られ、従来より切断精度が向上しました。これまでガスやプラズマの切断機を使用していましたが、新たな切断機は、切り口がきれいで研削の手間が省けると共に、切断精度が高いため、ボルト穴を開けてから切断することが小型の鋼材でも可能となり、作業の効率化が図られました。



工場位置図(室蘭)

更に、今年に入り、橋梁用の鋼板を切断するNCプラズマ切断機を更新し、切断速度のスピードアップやより高度な切断が可能となりました。これらの設備投資により、コストダウンや効率化に寄与することが期待されています。今後も最新の設備を有する北海道を代表する鋼構造物のメーカーとして、高品質な製品を供給してまいります。



NCプラズマ切断機

Topics 4 当社ホームページのご紹介

<http://www.ybhd.co.jp/>

最新の株主・投資家(IR)情報や当社グループの情報をご提供しています。



- ①『ようこそYBHDグループへ!!』・・・当社の歴史や当社グループが手掛けてきました時代を代表する構造物等をご紹介します。
- ②『110年の時を越えた巨大大事業 本州四国連絡橋プロジェクト』・・・当社も参画いたしました『本州四国連絡橋プロジェクト』についてご紹介しています。
- ③『株主・投資家の皆様へ』・・・決算短信・決算説明会資料・株主通信等を掲載しています。
- ④『グループについて』・・・当社のグループ企業の事業内容や製品紹介がご覧になれます。
- ⑤『株主優待制度』・・・当社の株主優待制度についてご紹介しています。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金 交付株主確定日	毎年3月31日、なお、中間配当を行う場合は、 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	<a href="http://www.ybhd.co.jp/">http://www.ybhd.co.jp/</a>

※表紙の写真は、阿波しらさぎ大橋(徳島県徳島市)  
4径間連続ケーブルイグレット型式鋼桁(橋長1,291m)  
なお、ケーブルイグレット形式は世界初の橋梁形式で、  
ケーブルがしらさぎ(イグレット)の羽ばたいているように  
似ているため名づけられました。

 **株式会社 横河ブリッジホールディングス**

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号 TEL. 03-3453-4111 (代表) <http://www.ybhd.co.jp/>

## YBHDグループ



**株式会社 横河ブリッジホールディングス**  
グループ全体の経営管理



**株式会社 横河ブリッジ**  
橋梁・橋梁関連製品・精密機器製造



**横河工事株式会社**  
土木・建築・保全



**株式会社 横河システム建築**  
システム建築・開閉式建築システム・環境



**株式会社 横河住金ブリッジ**  
橋梁・橋梁関連製品・セグメント



**株式会社 榎崎製作所**  
橋梁・水処理・環境製品・鉄構製品



**株式会社 横河技術情報**  
情報処理サービス・ソフトウェア開発



**株式会社 横河ニューライフ**  
不動産管理・情報システム・人材派遣



**株式会社 ワイシーイー**  
橋梁等構造物の総合エンジニアリング

